

地方創生人材支援制度による4月又は5月からの派遣者

| 派遣市町村 | 役職 | 派遣者 (派遣元) | 派遣を希望する理由 |
|-------------------------|-----------------------|-------------------------------------|---|
| 北海道 しりうちょう 知内町 | 地域創生推進室 室長 【常勤】 | しまづ やすひろ 島津泰博 (農林水産省) | これまで国有林での木材生産・販売や森林資源の利活用の業務に携わってきた。木質バイオマス・地域材の活用の方法を検討している市町村においては、これまでの経験などを生かし、未利用森林資源の活用を核にその他の産業も巻き込む形で地域雇用の活性化、地方創生に貢献できると考えている。 |
| 北海道 えさしちょう 江差町 | 顧問 【非常勤】 | きのした ふみこ 木下 富美子 (博報堂ブランドデザイン) | 「官」と「民」の2つを経験したからこそ思うのは、行政府による民間のノウハウの活かし方にはまだまだ課題があるということ。民間のノウハウ・ネットワークを行政府の中で、その論理を尊重しながらも”革新的に”取り入れていくことでこそ、この重大な局面を突破する「新しい地域づくり」ができるのだと思う。その意味で、これまでの自分の経験を活かして取り組めることに、意義と可能性を強く感じている。 |
| 北海道 にせこちょう ニセコ町 | 自治創生室 室長 【常勤】 | かない のぶひろ 金井 信宏 (環境省) | ニセコ町では、再生可能エネルギーの積極導入などによる環境配慮型まちづくりを目指しており、環境省職員として培ってきた知見を総合的に発揮して、ニセコ町の地方創生に貢献できると考えている。 |
| 北海道 ないえちょう 奈井江町 | ふるさと創生アドバイザー 【非常勤】 | あずま たいし 東 大史 (村楽LLP) | これまでの地域再生プロデューサーとしての経験を元に、地に足のついた形で地域に雇用を創出していきたいと考えている自治体の参謀として、地域住民の方々の主体性を引き出しながら地域資源に合わせた具体的で持続可能な地域を創出していく事業プランを考えていきたい。 |
| 北海道 かみしほろちょう 上士幌町 | 企画財政課 参事 【常勤】 | じょうの よしとみ 城野 嘉臣 (国土交通省) | これまで北海道開発庁のほか、農林水産省、国土交通省において様々な業務に携わり、その中で、北海道内の市町村の方々と意見交換等を行う機会も多かったこともあり、国土交通省や農林水産省の所管行政とも関連が深い「小さな拠点の形成」(コンパクトなまちづくり)、「都市と農村の交流推進」を主要な取組に掲げている上士幌町の地方創生実現のための一助になりたいと考えている。 |
| 北海道 しみずちょう 清水町 | 調整中 【常勤】 | おさむら ともゆき 長村 知幸 (小樽商科大学) | 農業クラスターの形成に強い関心を持ち、これまで食関連産業の調査(静岡県の茶産業・北海道のワイン産業)を実施し、これらの経験が清水町における「食や観光を通じた地域活性化」に活かすことができると考えている。 |

| 派遣市町村 | 役職 | 派遣者 (派遣元) | 派遣を希望する理由 |
|-------------|--------------------------|--------------------------------|--|
| 岩手県 久慈市 | 地方創生アドバイザー 【非常勤】 | せんだ よしひと 千田 良仁 (東京大学大学院) | これまでの外部専門家として多くの地域に関わり、ひと・もの・かねをコーディネートしてきた経験と自分の持つ産学官民のネットワークを活かして、首長の補佐として、実行力があり地域および取組の持続可能性を高める総合戦略策定づくりに寄与したいと思っている。 |
| 岩手県 葛巻町 | 参事 兼 農林環境エネルギー課長 【常勤】 | なかむら てるみ 中村 輝実 (農林水産省) | これまで一貫して畜産・酪農関係の業務に携わってきた。酪農を基幹産業とする市町村においては、これまでの経験等を活かし、畜産・酪農の振興を核にその他の産業も巻き込む形で地方創生に貢献できると考えている。 |
| 岩手県 山田町 | 調整中 【常勤】 | すずき ひろし 鈴木 裕 (農林水産省) | 農林水産業を基幹産業とする地域の地方創生に貢献できる、農地制度、米政策や米をはじめとした食品の流通に係る企画・立案等に加え、地方公共団体への出向を経験している。また、政府の危機管理等の業務に携わってきたことや自身が被災地の出身であることから、被災した市町村の復興に貢献したいと考えている。 |
| 秋田県 湯沢市 | 調整中 【常勤】 | ふじい のぶゆき 藤井 延之 (総務省) | これまで地方自治や危機管理に関する業務に幅広く従事してきたほか、複数の地方公共団体に出向し、現場レベルでの様々な実例に触れてきた。こうした国・地方の双方で蓄積された経験をいかし、国政の大局を踏まえつつ市政運営を助けることで、住民の安心・安全の確保、より一層の地域活性化等、「地方創生」にふさわしい豊かなまち・暮らしの実現に貢献したいと考えている。 |
| 山形県 寒河江市 | さがえ未来創生課長 【常勤】 | いとう こうへい 伊藤 耕平 (経済産業省) | 寒河江市は、さくらんぼなどの地域資源を生かした、これまでにない取組を行い、積極的な情報発信(シティセールス)などを通じた地方創生を進めることとしており、これまでの勤務経験などを活かして、寒河江市の地方創生に貢献できると考えた。 |
| 福島県 棚倉町 | 地方創生アドバイザー 【非常勤】 | やすだ としひろ 安田 俊広 (福島大学) | 棚倉町においては、地方創生の基本的方向性として、「高齢者はもとより町民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組む気持ちを醸成し、生涯を通じ、快適で充実した暮らしができるよう出来るよう取り組んでゆく」ことが示されている。これまでスポーツ・運動をツールとして地域住民の活力向上のための様々な取組を行ってきており、これらによる知見は、棚倉町の地方創生に貢献できると考えている。 |

| 派遣市町村 | 役職 | 派遣者 (派遣元) | 派遣を希望する理由 |
|--------------|---------------------------|--|--|
| 茨城県 高萩市 | 調整中 【常勤】 | よねだ けいご 米田 圭吾 (総務省) | これまで、国民の安心・安全の確保や地方税財源の充実等、より良い地方公共団体の運営のための業務に従事してきたところであり、実際に地方公共団体へ出向し、当該県内市町村との連絡調整に係る業務に取り組んできたことから、派遣先市町村において、地方財政一般に関する提案や、関係団体等との円滑な調整などの側面から地方創生に貢献できると考えている。 |
| 茨城県 常陸大宮市 | 創生特別顧問 【非常勤】 | にしの ゆきこ 西野 由希子 (茨城大学) | 文学や文化・芸術を専門にしており、地域の特色ある文化や歴史を学び、継承していくことは地域活性化の重要な部分と考えている。これまで学生とともに地域に入り、まちづくりの調査・研究や企画、提案、実践を行ってきた。こうした経験を踏まえ、常陸大宮市の持つ「魅力」を評価し、市民が主体となってまちづくりの活動を進め、継続・発展させる仕組みをつくり、地域課題の解決のための具体的なプランを提案し、携わっていきたい。 |
| 茨城県 桜川市 | 参与 【非常勤】 | ふかや しんすけ 深谷 信介 (博報堂ブランドデザイン スマート×都市デザイン研究所) | その「まち」に相応しい「生活像」を描き、新たなソリューションを構築する。”暮らし価値主導”で先端的アイデアと現有資産との高次融合を図り、ユニークで魅力的かつ持続可能なまちづくりを積極的にサポートしていきたいと考えている。 |
| 群馬県 みなかみ町 | 参与 【非常勤】 | たむら しげる 田村 秀 (新潟大学) | これまで国家公務員、地方公務員及び大学教員として30年近く、地方自治や地域活性化に関する様々な仕事に携わってきた。国の立場、自治体の立場、そして研究者の立場と様々な視点で地域の問題に関わってきたことから、ステレオタイプではない、多角的な視点から地域の活性化に取り組むことができると考えており、地方創生に少しでも貢献したいと考えている。 |
| 千葉県 勝浦市 | 地方創生プランニングディレクター 【非常勤】 | さいとう ゆきひこ 齋藤 雪彦 (千葉大学) | 東日本大震災被災地域を含む過疎地域等の再生は我が国の主要な課題の一つであり、私のライフワークでもある。これまで、自治体の事業や科学研究費補助等を利用し、地域づくりを主導してきたが、資金面の手当ては十分でなく、本事業は当方のこれまでの知見や経験を活かし、地域再生を進めるまたとない機会であるとする。同時に、これまでの研究成果を援用、比較しながら、さらなる知見を得て、地域再生の理論化を推進し、研究の深度化をはかりたい。「地方消滅」などという言葉が昨今聞かれるが、地域の魅力を再発見し演出すること、地域住民の生活を支える要素(インフラに限らない)を再評価し、地域再生・地方創生に取り組みたい。 |

| 派遣市町村 | 役職 | 派遣者 (派遣元) | 派遣を希望する理由 |
|--------------------------|--------------------|---|---|
| 千葉県 いすみ市 | 調整中 【常勤】 | はやかわ たくや 早川 卓也 (総務省) | 「頑張る地方応援プログラム」、「定住自立圏構想」、「地域おこし協力隊」、「地域経済イノベーションサイクル」といった総務省が近年取り組んできた地域活性化のための各種施策に従事してきたことから、派遣先市町村の地方創生に関する政策の企画・立案に貢献できると考えている。 |
| 千葉県 よこしばひかりまち 横芝光町 | シティマネージャー 【非常勤】 | すずき まさゆき 鈴木 雅之 (千葉大学) | 10年を超えるNPO活動を通じた実践活動の実績や地方創生に係る多様な包括的な研究実績、地方公共団体における多様な委員活動の実績、建築・都市づくりコンサルティングの実績などの地方創生に係る包括的な専門性・経験・実績を有しており、地方公共団体が求める総合戦略の策定に対し、包括的、総合的に貢献できると考えている。 |
| 神奈川県 きよかわむら 清川村 | 参事 【常勤】 | こいけ のぶゆき 小池 信行 (国土交通省) | 宮ヶ瀬ダム計画、建設から管理、運用に至るまで長らく携わってきており、それらの経験も踏まえ、宮ヶ瀬ダムを活用した地域活性化の方策について地域の方々と共に考えていく絶好の機会と捉え、清川村の地方創生に貢献したいと考えている。 |
| 新潟県 あわしまうらむら 粟島浦村 | 調整中 【非常勤】 | あべ たかし 阿部 剛志 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング) | これまでシンクタンクとして「外」の目で離島振興のプロジェクトに複数携わってきた。この経験を活かし、より深く、シビアな市町村の「内」で現場に身を置き、身を粉にして新しい雇用・産業づくりに邁進したい、また、自身の都市と農村の二拠点居住の生活を活かして、地域外の人との多様なつながりから雇用・産業づくりにチャレンジしたい。 |
| 山梨県 たばやまむら 丹波山村 | 顧問 【非常勤】 | こはま てつ 小濱 哲 (横浜商科大学) | 人口の減少と地域経済の衰退・税収の減少に悩んでいる地域に対して、「高齢者でもできるまちづくり」、「観光客を受け入れる地域の経済(収入)を高めたい手法」について、地域と共に考えていきたい。 |
| 長野県 かわかみむら 川上村 | 地方創生推進幹 【常勤】 | にしお ともひろ 西尾 友宏 (農林水産省) | これまで、畜産振興を通じた地域活性化のための施策や被災地の復興を通じた地域活性化のための施策等について企画・立案を行ってきており、一次産業の振興などを通じた地域活性化のための手法の検討について経験を積んできた。これまでの経験を活かし、耕種農業を中心に、六次産業化や都市と農村の交流などを通じ、地方創生に貢献したいという強い熱意をもっており、全力で貢献したいと考えている。 |

| 派遣市町村 | 役職 | 派遣者 (派遣元) | 派遣を希望する理由 |
|-------------------------|--------------------|---------------------------------|--|
| 岐阜県 いけだちよう 池田町 | 理事 【常勤】 | そうだ きよひろ 早田 清宏 (文部科学省) | 私は、1人1人が自分の目的や夢の実現に向けて生き生きと生きる社会を、教育を通じて作りたいと願っている。魅力的な教育が行われている場合には、我が子に良い教育を受けさせたいと願う若い世代が集まる。若い世代が新しいモノを作り、仕事を生み出し、更なる人を呼び込む。このような善循環を実現し、教育が地方創生に資する第一歩に貢献したいと強く考えている。 |
| 静岡県 おやまちよう 小山町 | 行政アドバイザー 【非常勤】 | にしむら けん 西村 健 (政策支援合同会社) | これまでの経験に基づいた多面的分析と実行・実践力、ファシリテーター・コーチとしての実行力や能力向上を引き出す力、これまで築き上げてきたネットワーク等を活かし、地方自治体における地方創生に貢献したいと考えている。 |
| 愛知県 とよねむら 豊根村 | 調整中 【非常勤】 | いのうえ たいいち 井上 泰一 (野村総合研究所) | 地方創生は、人口減少社会における我が国の新たな姿を構築する上で必要不可欠。 これまで、私は、野村総合研究所にて、国の政策・事業に関わる仕事をしてきたが、地方におけるまちづくり、産業振興、雇用創出、人材育成、その他社会的課題の解決に対する、国の政策・事業の有効性とともに関界を感じる事もあった。これまでの経験や考え方、NRIコンサルタントの知見、国の官僚や企業との人脈等を活用して、派遣先の市町村が抱える問題に対して、課題抽出と解決策の検討、更に解決策の実行支援に貢献したいと考えている。 |
| 三重県 しまし 志摩市 | 参事(地方創生担当) 【常勤】 | かとう のりゆき 加藤 倫之 (環境省) | 志摩市においては、伊勢志摩国立公園を中心とした「里海のまち」と「御食つ国」を地域づくりのテーマを掲げており、これまでの自然保護官としての経験などを活かし、志摩市の地方創生に貢献できると考えている。 |
| 三重県 みなみいせちよう 南伊勢町 | まちづくり政策監 【常勤】 | まつだ ゆうこ 松田 裕子 (三重大学) | 地方創生においては、地域の多様な関係者や異業種との連携が不可欠であり、その橋渡し役となるコーディネーター的人材が成否のカギを握っている。しかし、「ひと」は最も重要な資源であるにもかかわらず、職業としての不安定性や社会的認知度の低さ等の問題に起因した人材不足が指摘される。このような中で、地方創生にとって地域の国立大学の果たすべき役割は多大であり、自身の15年以上に及ぶ国内外の農村振興研究の蓄積や政策的・学術的知見をもとに、プレイヤーとなる地域住民や役場職員、並びにサポーターとなりうる大学生等の外部人材のレベルアップに寄与し、自らが人材育成に携わりたいと強く感じている。 |

| 派遣市町村 | 役職 | 派遣者 (派遣元) | 派遣を希望する理由 |
|-----------------------|----------------------------------|---------------------------------------|--|
| 滋賀県 まいばらし 米原市 | 市長特命シティマネージャー 【常勤】 | まるやま たけし 丸山 武志 (日本総合研究所) | 今までは、メガバンクやシンクタンクにて「地方創生の取り組みを支援する外部専門家」という立場で地域の雇用創出、産業創造・再生・再編を支援してきたが、今回、これらの知見とリレーションを活用し、「実際に地方創生の旗を振る」立場から関わることで、「豊かで持続可能性の高い『次世代の国づくり』」の一翼を担いたいと考えている。 |
| 京都府 あやべし 綾部市 | 参与 【非常勤】 | おおた たつのすけ 太田 達之助 (大和総研) | 私は長年様々な角度から企業分析の業務に従事してきた。具体的には、調査部門でのアナリストとしての分析、投資銀行部門での企業価値を高めるためのアドバイザーとしての分析、企業投資部門での株主の立場からの分析、そしてコンサルティング部門でのコンサルタントとしての分析である。現時点で地方創生等に特化した知見はないが、逆に「行政の常識で民間の非常識」に当たるものが何か、「事業の本質」は何かという視点で、政策の分析とどうすべきかという処方箋を提示することができると考えている。 |
| 兵庫県 あさごし 朝来市 | 市長公室 まち・ひと・しごと創生担 当部長 【常勤】 | あせ ふとし 阿瀬 太 (経済産業省) | 朝来市では、「メイドイン朝来」プロジェクトにより、地域ブランド計画の推進などを通じた雇用の確保、定住の促進などを進めることとしており、これまでの勤務経験などを生かし、朝来市の地方創生に貢献できると考えた。 |
| 奈良県 てんりし 天理市 | 創生顧問 【非常勤】 | たかつ よしお 高津 融男 (奈良県立大学) | 専門は公共政策学である。10年以上にわたり、奈良県をはじめ各地域等において社会貢献活動を積極的に行い、とくに民間主導のまちづくりの実践に参画してきた。大学の授業やゼミでは、課題解決型の教育を行い、奈良県内の地域の課題にとりくみ、それぞれの地域の特性やニーズに応じた解決策を提言し、また実践してきた。とくに地域の情報発信については、学生が能力を発揮できるSNSや映像など様々な手法を用いて支援してきた。こうした研究教育及び実践経験を、天理市が求める総合的な少子化対策や地域活性化にも活かせると確信し派遣を希望した。 |
| 奈良県 いかるがちよう 斑鳩町 | 参与 【非常勤】 | ほんだ よういち 本田 洋一 (大阪市立大学) | 地方自治体における産業政策、文化政策、保健医療政策等各政策分野における職務経験、また公務とあわせ進めてきた地域イノベーションに関する研究活動の成果と各地域に関する先進的事例についての知見等を活かし、地方自治体における地方創生に向けた取組に貢献したいと考えている。 |
| 奈良県 あすかむら 明日香村 | 政策監 【非常勤】 | やまもと しんいちろう 山本 慎一郎 (RCF復興支援チーム) | これまで復興支援の観点から地方創生分野の経験を積んできたほか、かつては国家公務員として都市・地域整備関係を中心に従事したこともあり、これらに基づく専門性と経験を我が国の地方創生の推進に役立てることができると考えている。 |

| 派遣市町村 | 役職 | 派遣者 (派遣元) | 派遣を希望する理由 |
|--------------------------|-------------------------|--------------------------------|--|
| 奈良県 おうじちょう 王寺町 | 顧問 【非常勤】 | しまだ ともあき 島田 智明 (神戸大学大学院) | 私がこれまで社会人として身につけてきた知識と経験を活かし、地方自治体の活性化に裏舞台から全力で貢献したいと考えている。また、競争原理は一つの考えに過ぎないが、民間企業で当然とされている様々な経営手法を地方自治体の運営に取り入れ、関西圏の活性化・地方創生、ひいては、日本国の活性化・地方創生に貢献したいと願っている。 |
| 奈良県 よしのちょう 吉野町 | 特別参与 【非常勤】 | きむら としあき 木村 俊昭 (東京農業大学) | 全国の各地域では、今こそ、課題解決のみに追われたり、「できない」理由探しではなく、人口推計・人口構造、産業・歴史・文化等を調査・分析のうえ、いかに独自の「できる！」を創造・実践するかが求められている。私は、これまでの経験・ノウハウを活かし、「広聴」、実学・現場重視の視点から、まちの事業構想力を研ぎ、全体最適の思考による先取り政策(「五感六育」木村モデル、地域リーダー養成塾等)を策定・実践し、笑顔・感動と感謝のまちへと進化できるように、協力・応援したい。 |
| 和歌山県 かみとんだちょう 上富田町 | 企画員(地方創生担当) 【非常勤】 | なかじま まさひろ 中島 正博 (和歌山大学) | 近年、地方分権の理論的検討が進められているが、財政学の論理とともに、国や地方自治体の現場を結ぶ研究活動が改めて重要になっていると考えている。都市と農村との格差が広がるのみならず、「限界集落」ともいわれるように、人口減少と超高齢化社会のもとで、地方再生が困難になっている地域が現出している。そのなかで、産業・地域経済問題としても、総合的な自足可能な方策を検討したい。また、自らのこれまで得てきた知見をわずかでも、地域の現場とともに考えることで役立たせることができれば、と考えている。 |
| 島根県 あまちょう 海士町 | 地域教育魅力化コーディネーター 【常勤】 | なかがわ さとゆき 中川 覚敬 (文部科学省) | これまでの経験を活かし、地方創生に向けて地域住民が主体となり、解決策を自ら考え行動していくための一つのアプローチとして、教育の持つ可能性を提示しながら、地域住民との対話を通じて、地方創生に取り組んでいきたいと考えている。 |
| 岡山県 いばらし 井原市 | 地域創生戦略顧問 【非常勤】 | みむら さとし 三村 聡 (岡山大学) | 岡山市や倉敷市をはじめとした岡山県内の自治体にたいして、経済界、NPO、マスコミと連携して岡山大が全学体制を構築しながら、大学が地域資源として役立てるよう地域活性化を目指す活動を展開中である。私は、こうした活動に従事しており、これまでの活動経験や専門的な知識を地方創生のために活かしたいと考えている。 |
| 岡山県 せとうちし 瀬戸内市 | 産業建設部 参与 【常勤】 | まつもと ひろゆき 松元 洋之 (国土交通省) | 瀬戸内市には常日頃から大変親しみを持っており、瀬戸内市の素晴らしい自然環境や農林水産物、景観は大変素晴らしいものと認識している。私のこれまでの行政経験・知識を役立て、瀬戸内市のより魅力あるまちづくりに貢献したい。 |

| 派遣市町村 | 役職 | 派遣者 (派遣元) | 派遣を希望する理由 |
|------------------------|------------------------|-----------------------------------|--|
| 岡山県 あかいはし 赤磐市 | 調整中 【常勤】 | なかむら まさたか 中村 昌孝 (農林水産省) | これまで、農業農村の振興に係る業務に携わってきた。農業を基幹産業とする赤磐市においては、これまでの経験を活かし、農業を魅力ある産業とし、それを核とした地域振興に取り組み、農業者以外の方々もそこに住まい、にぎわいを取り戻すような地方創生に貢献できると考えている。 |
| 岡山県 みまさかし 美作市 | 調整中 【常勤】 | もりわけ ゆきお 森分 幸雄 (経済産業省) | 美作市では、ベトナム人の住民が増えており、今後、ベトナムの関係機関や自治体との相互連携協定などの締結も視野に入れた取組を推進することとしていることから、これまでの勤務経験などを活かし、美作市の地方創生に貢献できると考えた。 |
| 広島県 ふちゅうちよう 府中町 | 企画財政部 地方創生担当部長 【常勤】 | じげ おさむ 地下 調 (国土交通省) | これまでの経験を踏まえ、地域の特性を活かした、安全・安心で、活力と魅力あるまちづくり・地域づくりに係る施策の企画立案、関係機関との連絡・調整、施策の実行などにより、府中町の地方創生の推進に貢献できると考えている。 |
| 山口県 ながとし 長門市 | 経済観光部理事 【常勤】 | きむら よしと 木村 隼斗 (経済産業省) | 長門市では、地域資産の活用による高付加価値型商品・サービスの開発などによる「ながとブランド」育成を核にした地方創生を進めることとしており、これまでの勤務経験などを活かし、長門市の地方創生に貢献できると考えた。 |
| 徳島県 みよしし 三好市 | 政策監 【常勤】 | よこやま きいちろう 横山 喜一郎 (野村総合研究所) | これまで、企業や組織のブランド(イメージ)づくり、広報・PR活動、デザインシステム・ツール開発、イベント企画・運営、CSR(企業の社会的責任)推進を担当してきた。また、「都市マスタープラン」、「都市景観基本計画」、「観光基本計画」の策定支援業務などを経験してきており、こうした経験・ノウハウを基に、三好市のまちづくりに貢献したいと考えている。 |
| 福岡県 たちあらいまち 大刀洗町 | 調整中 【常勤】 | おかだ あきひと 岡田 暁人 (総務省) | これまで総務省において、自治体の地域活性化に関する業務や、地方公営企業の制度に関する企画立案を経験してきた。これらは地方公共団体と非常に密接な業務であり、そこで学んだノウハウをもとに、派遣先市町村が目指す地方創生に関する施策について適切な提案をすることができると考えている。また、以前地方公共団体に出向した際には、経営企画部長として市政全般に係る政策の企画・立案に携わった経験があることから、派遣先市町村においても政策の企画・立案に貢献できるものと考えている。 |

| 派遣市町村 | 役職 | 派遣者 (派遣元) | 派遣を希望する理由 |
|------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|---|
| 佐賀県 かみみねちょう 上峰町 | 調整中 【常勤】 | よねもと よしのり 米本 善則 (文部科学省) | これまで地方公共団体や大学への出向を通じて得た地域政策、復興、防災、危機管理などの知見や経験、また、これまで社会教育・生涯学習政策で培った行政分野の知識や経験、人的ネットワーク等を活かして派遣先市町村の地方創生に貢献したいと考えている。 |
| 大分県 なかつし 中津市 | 調整中 【常勤】 | いなだ りょう 稲田 亮 (国土交通省) | これまで国土交通省においては、港湾分野をはじめとする様々な業務に携わってきたことから、これらの経験を生かして、地域ニーズの把握に努め、多様な企業や関係機関等との円滑な連携・調整を図りながら、基礎自治体における地方創生施策の企画・立案や施策の推進に貢献することかできると考えている。 |
| 大分県 きつきし 杵築市 | 政策推進課長 (市長直轄シティマネージャー) 【常勤】 | やまだ あつひろ 山田 敦弘 (日本総合研究所) | 保健医療福祉と情報技術が自分にとっての2大バックボーンである。それらに関連するプロジェクトについては、多種多様にかかわってきており、様々な場面でそのノウハウの活用ができると考えている。 |
| 宮崎県 くしまし 串間市 | 調整中 【常勤】 | やご まさし 矢後 雅司 (総務省) | これまで地方分権改革の推進等、より良い地方公共団体の運営のための業務に従事してきたところであり、実際に地方公共団体に出向した際には、県内の観光行政に係る業務、特に外国人観光客の増加や国際会議の誘致などに取り組んだことから、派遣先市町村においても当該団体の魅力を活かした地方創生の取組に貢献できると考えている。 |
| 鹿児島県 ながしまちょう 長島町 | 調整中 【常勤】 | いのうえ たかし 井上 貴至 (総務省) | 地方自治に関する業務に従事してきたこと及び地方公共団体への出向経験により、地方公共団体の各種取組について様々な実例を見てきたことから、派遣先市町村が目指す施策の方向性について適切な提案をすることができ、また、実際に地方公共団体へ出向した際には、県内市町等との連絡調整に係る業務を行ってきたことから、派遣先市町村においても関係団体等との円滑な調整に貢献できるものと考えている。 |